

デジタルHDビデオ カメラレコーダー

取扱説明書



ヘルプガイド(Web取扱説明書)
Web上のマニュアル「ヘルプガイド」も
ご覧ください。パソコンやスマート
フォンでご覧いただけます。

<http://rd1.sony.net/help/cam/1610/ja/>

準備する

撮る/見る

残す

使いこなす

その他



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HANDYCAM®

HDR-CX485/CX675/PJ675/CX680/PJ680

警告 安全のために

→ 49～52ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、ケーブル類に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

- ➔
- ① 電源を切る
 - ② 電池を外す
 - ③ 相談窓口につながる

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

詳しく知りたい (ヘルプガイド)

「ヘルプガイド」はオンラインで見るマニュアルです。さらに詳しい使いかたを知りたいときにご覧ください。

ヘルプガイドの掲載ページ にアクセスする。

[http://rd1.sony.net/help/
cam/1610/ja/](http://rd1.sony.net/help/cam/1610/ja/)



ヘルプガイドでは以下の機能などを詳しく説明しています。

- タイムラプス撮影
- ハイライトムービーメーカー
- ライブストリーミング
- マルチカメラコントロール

目次

安全のために	2
詳しく知りたい (ヘルプガイド) ...	3

準備する

付属品を確かめる	4
バッテリーを充電する	5
電源を入れる	7
コンセントに接続して本機を 使う	8
メモリーカードを入れる	9

撮る/見る

撮る	11
見る	14
テレビで見る	17
プロジェクターで見る (HDR-PJ675/PJ680)	18

残す

パソコンに映像を取り込む	19
動画のディスクを作成する	20
外部機器に映像を保存する	22
Wi-Fi機能を使う	27

使いこなす

メニューを設定する	33
-----------------	----

その他

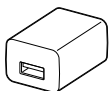
使用上のご注意	36
主な仕様	40
保証書とアフターサービス	44
各部のなまえ	45
安全のために	49
索引	53

付属品を確かめる

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

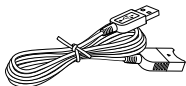
()内は個数。

- 本機 (1)
- ACアダプター (1)

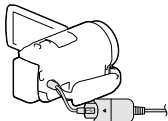


ACアダプターの形状は、国/地域により異なります。

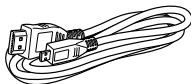
- USB接続サポートケーブル (1)



USB接続サポートケーブルは本機専用です。本機に組み込まれている内蔵USBケーブルの長さが足りないときに使います。



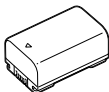
- HDMIケーブル (1)



- リチャージャブルバッテリーパック

NP-FV50 (HDR-CX485/
CX675/PJ675) (1)

NP-FV50A (HDR-CX680/
PJ680) (1)

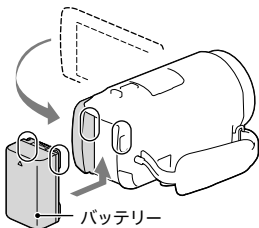


充電時など、本機をコンセントにつないで使うときには、必ずバッテリーを取り付けてください。

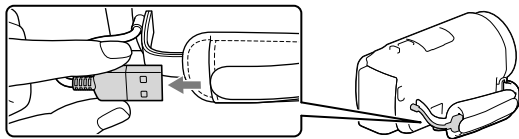
- 取扱説明書 (本書) (1)
- 保証書 (1)

バッテリーを充電する

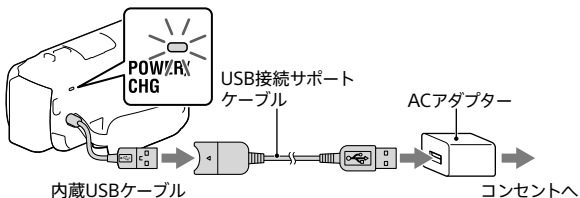
1 液晶モニターを閉じて、バッテリーを取り付ける。



2 内蔵USBケーブルを本機から引き出す。



3 USB接続サポートケーブルとACアダプターで、本機とコンセントをつなぐ。



- POWER(電源) /CHG(充電) ランプがオレンジ色に点灯します。
- POWER(電源) /CHG(充電) ランプが消灯したら充電完了です(満充電)。本機からUSB接続サポートケーブルを取り外してください。
- ACアダプターの形状は、国/地域によって異なります。

パソコンに接続して充電する

本機の電源を切り、内蔵USBケーブルでパソコンのUSB端子に接続します。

充電時間の目安(分)

バッテリー型名(付属)	ACアダプター(付属)	パソコン使用時
NP-FV50/FV50A	165	305

- バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25℃の環境下で満充電したときの時間です。

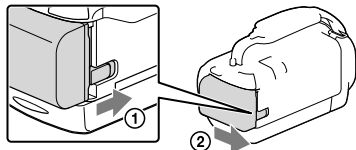
付属バッテリーの撮影/再生可能時間の目安(分)

バッテリー型名	撮影時間		再生時間
	連続撮影時	実撮影時	
NP-FV50	150 (HDR-CX675/PJ675) 155 (HDR-CX485)	75	240
NP-FV50A	160 (HDR-CX680/ PJ680)	80	295

- 25℃で、満充電から使用したときのおよその時間です。
- お買い上げ時の設定([H]録画モード] : [高画質 **Fi**]、[同時ビデオ記録] : [入])での撮影時間です。
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、撮影モードの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

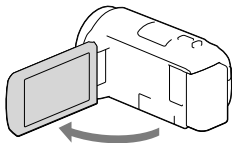
バッテリーを取り外す

電源を切った状態で、BATT(バッテリー)取り外しレバーをずらしながら(①)、バッテリーを取り外す(②)。

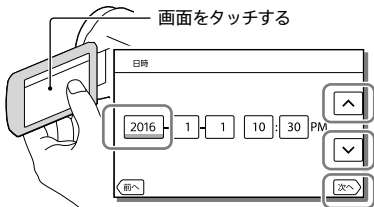


電源を入れる

- 1 液晶モニターを開いて電源を入れる。



- 2 本機の画面に従って、エリア、サマータイム、表示形式、日時を設定する。



電源を切る

液晶モニターを閉じる。

日付と時計を合わせなおす(本機を数か月間使用しなかった場合)

[MENU] → [セットアップ] → [時計設定] → [日時設定] を選ぶ。

操作音を切る

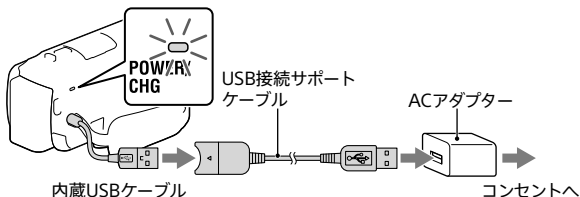
[MENU] → [セットアップ] → [一般設定] → [操作音] → [切] を選ぶ。

コンセントに接続して本機を使う

1 バッテリーを本機に取り付ける。(5ページ)

- 必ず充電されたバッテリーを本機に取り付けてください。

2 USB接続サポートケーブルとACアダプターで、本機とコンセントをつなぐ。



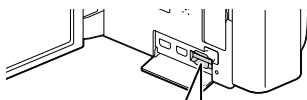
- コンセントに接続していてもバッテリーの電力を消耗する場合があります。

ヒント

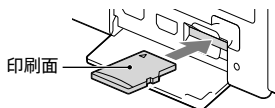
- バッテリーを取り付けていない状態で使用する場合は、ACアダプター AC-L200 (別売) が必要です。
- パソコンなどのUSB機器から給電することもできます。(USB給電)
500 mAの電源供給が可能なUSB機器と接続しているときは、再生機能のみ操作できます。

メモリーカードを入れる

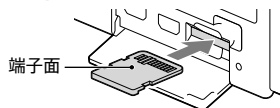
1 カバーを開き、メモリーカードを「カチッ」というまで押し込む。



microSDメモリーカードのとき



メモリースティック マイクロ (M2) のとき



準備する

- 「管理ファイル準備中 しばらくおまちください」というメッセージが表示されたら、消えるまでそのままお待ちください。
- まっすぐに正しい向きで挿入しないと本機で認識されません。
- 本機の内蔵メモリーに記録する場合は、メモリーカードは不要です。

本機で使えるメモリーカード

以下の一覧を参考にし、使用するメモリーカードを選んでください。

メモリーカード	AVCHD	XAVC S
メモリースティック マイクロ™ (M2)	○ (Mark2のみ)	—
microSDメモリーカード*	○*1	—
microSDHCメモリーカード*	○*1	○*2
microSDXCメモリーカード*	○*1	○*2

*1 SDスピードクラス4: **CLASS 4**以上

*2 以下の条件を満たすメモリーカード

— 容量4GB以上

— SDスピードクラス10: **CLASS 10**以上

ご注意

- SDHCメモリーカードにXAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。
本機で再生する場合は、連続で再生されます。
PlayMemories Homeで結合することで、1つのファイルとして扱うことができます。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とマイクロUSBケーブルで接続して取り込んだり再生したりすることはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。
対応していない機器に接続した場合はフォーマット(初期化)を促すメッセージが表示される場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。
(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)

記録/再生メディアをメモリーカードに切り換える

[MENU] → [セットアップ] → [メディア設定] → [メディア切換] → [メモリーカード] を選ぶ。

メモリーカードを取り外す

カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押す。

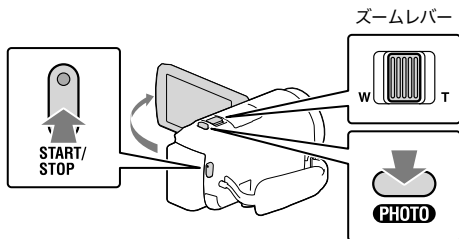
記録メディアをフォーマットする

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット(初期化)することをおすすめします。
- フォーマットするには、[MENU] → [セットアップ] → [メディア設定] → [フォーマット] → フォーマットしたい記録メディア → [OK] を選びます。
- メモリーカードをフォーマット(初期化)すると、記録されているすべてのデータが消去されます。元に戻すことはできませんので、大切なデータはパソコンなどに保存してください。

撮る

動画を撮る

1 液晶モニターを開き、START/STOPボタンを押して動画撮影を始める。



- 撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。
- お買い上げ時の設定では、AVCHD動画とMP4動画を同時に記録します(同時ビデオ記録)。AVCHD動画はブルーレイディスクレコーダーへのダビングやディスク作成などに、MP4はスマートフォンでの再生やネットワークへのアップロード、Web公開などにと、用途に応じて使い分けが可能です。
[MENU] → [画質・画像サイズ] → [同時ビデオ記録] で同時ビデオ記録を「切」に設定することもできます。
- 動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、静止画を記録できます(写真同時記録)。
- 本機を数秒間操作しないと、液晶モニターの表示が消えます。再度表示するには、液晶モニターのボタン以外の部分をタッチします。

ご注意

- 撮影の際には液晶モニターに被写体が映っていることを確認してから撮影を開始してください。
- [静止画モード] や [静止画フレームレート]、[静止画ブレ補正] の設定によっては、静止画を撮影できません。
- 保存先の記録メディア(内蔵メモリー/メモリーカード)を、動画と静止画で分けることはできません。

最も強い手ブレ補正効果で撮る(インテリジェントアクティブモード)

- 本機で最も強い手ブレ補正を使って撮影することができます。
- 同時ビデオ記録がONのときは使用できません。

[MENU] → [カメラ・マイク] → [カメラ設定] → [手ブレ補正] → [インテリジェントアクティブ] を選ぶ。

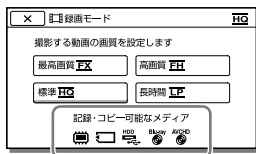
撮影者の声を抑えて撮る(マイボイスキャンセリング)

- **マイボイス** ボタン(46ページ)を押すと、動画撮影時に撮影者の声を抑えて撮影できます。

動画の画質を変える(AVCHD)

[MENU] → [画質・画像サイズ] → [記録画モード] で設定する。

- コピーできないメディアのアイコンに○が表示されます。



XAVC S動画を撮る

[MENU] → [画質・画像サイズ] → [記録方式] で記録方式を変更する。

- 本機は、「XAVC S」に対応しています。

「XAVC S」とは、高解像度の映像を、MPEG-4 AVC/H.264で高圧縮してMP4ファイル形式で記録するフォーマットです。データの容量を一定レベルに抑えながら高画質で記録することができます。

およその撮影可能時間

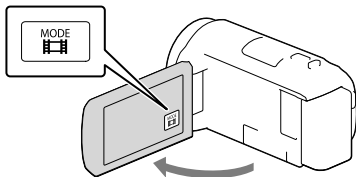
	機種名	内蔵メディア	メモリーカード [*] (16 GB)
AVCHD 動画	HDR-CX485/CX675/PJ675	3時間25分	1時間40分
	HDR-CX680/PJ680	6時間55分	1時間40分

^{*} ソニー製メモリーカード使用時です。

- [記録方式]が[AVCHD]、[録画モード]が[高画質 FH] (お買い上げ時の設定)で撮影した場合のおよその撮影可能時間です。
- 実際の撮影可能時間/枚数は液晶モニター上でご確認ください。

静止画を撮る

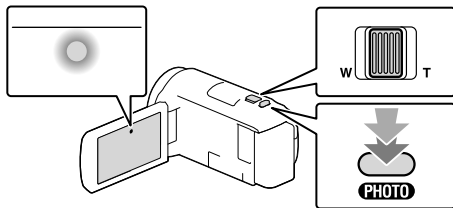
1 液晶モニターを開き、[MODE] → (静止画)を選ぶ。



2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、深く押す。

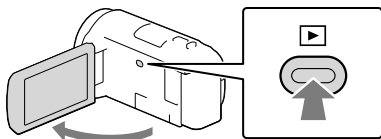
ピントが合うと点灯

ズームレバー

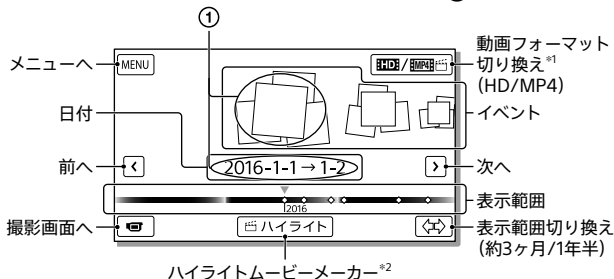


見る

- 1 液晶モニターを開き、▶(画像再生)ボタンを押して再生モードにする。



- 2 ◀/▶で见たいイベントを中央に表示させ、①の部分を選ぶ。

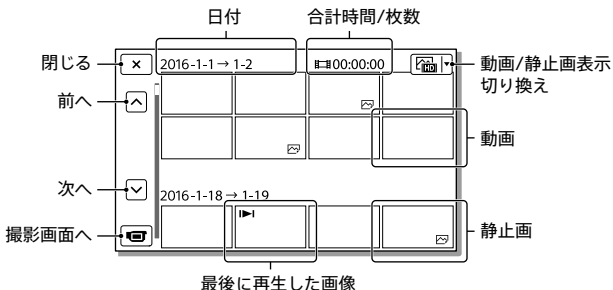


*1 [H]記録方式]の設定に応じてアイコンの表示が異なります。

*2 記録方式がAVCHDの場合のみ表示されます。

- 動画と静止画は、同じ記録メディア(内蔵メモリー/メモリーカード)に保存されています(10ページ)。
- 再生/編集/他機に保存するXAVC S動画またはAVCHD動画を選ぶには、
[MENU]→[画質・画像サイズ]→[H]記録方式]で選んでください。
- 再生/編集/他機に保存する動画(HD/MP4)を選ぶには、画面右上の「動画フォーマット切り換え」→[H]AVCHD]または[M]MP4]を選んでください。

3 画像を選んで、再生する。



再生時の操作

	音量		前へ/次へ
	削除		早戻し/早送り
	設定可能な機能		一時停止/再生
	止める		スライドショーの開始/停止
	モーションショット ビデオ		モーションショットビデオ 設定

画像を削除する

- ① 動画を削除するときは、手順2で **HD** → 削除したい動画の種類 (HD/MP4) を選ぶ。^{*}
- ② **MENU** → **[編集・コピー]** → **[削除]** → **[画像選択]** で削除する画像の種類を選ぶ。
- ③ 削除したい画像に **✓** を付け、**[OK]** を選ぶ。

^{*} **[同時ビデオ記録]** が **[入]** の場合は、HD動画とMP4動画が保存されています。両方とも削除したい場合は、手順1から3を繰り返してください。

本機の画像をメモリーカードにコピーする

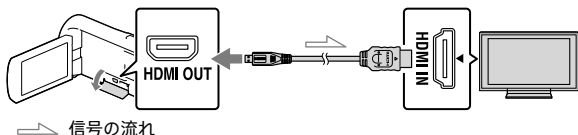
- ① **MENU** → [編集・コピー] → [コピー] → [内蔵メモリー→メモリーカード] → [画像選択] を選ぶ。
- ② コピーする画像の種類を選ぶ。
- ③ コピーする画像を選び、✓マークをつける。
- ④ **OK** → **OK** を選ぶ。

ご注意

- 内蔵メモリーに保存されたXAVC S動画はSDHCカードやFAT形式の外部メディアへのコピーはできません。

テレビで見る

1 HDMIケーブル(付属)で、本機のHDMI OUT端子とテレビのHDMI入力端子をつなぐ。



- お使いのテレビにHDMI端子がないときは、AVケーブル(別売)で本機のマルチ/マイクロUSB端子とテレビの映像/音声入力端子をつないでください。

2 テレビの入力をHDMI INに切り換える。

3 本機で画像を再生する。

ネットワーク対応のテレビと本機をつなぐ

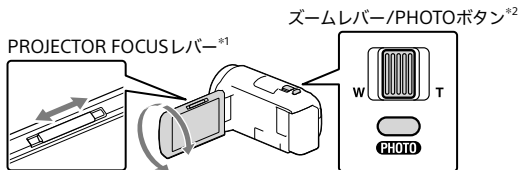
セキュリティ設定されているアクセスポイントと本機を接続して(31ページ)、本機の[▶](画像再生)ボタンを押した後で、[MENU]→[ワイヤレス]→[機能]→[テレビ鑑賞]で再生する画像の種類を選ぶ。

プロジェクターで見る (HDR-PJ675/ PJ680)

1 PROJECTORボタン(46ページ)を押す。

2 [本機で撮影した画像]を選ぶ。

3 操作方法を液晶モニターで確認し、[投影開始]を選ぶ。



*1 投影画面のピントあわせ。

*2 ズームレバーで投影画面上の項目を選択、PHOTOボタンを押して決定。

パソコンやスマートフォンのプロジェクターとして使う

① 本機のPROJECTOR IN端子(46ページ)と相手機器のHDMI出力端子を、HDMIケーブル(付属)でつなぐ。

- HDMIケーブル(付属)が相手機器側の端子と合わないときは、市販の変換プラグアダプターを使ってつないでください。詳しくは相手機器に付属の取扱説明書などをご覧ください。

② 上記の手順2で、[外部機器の画像]を選ぶ。

パソコンに映像を取り込む

PlayMemories Home™でできること

撮影した動画、静止画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。
XAVC S動画、AVCHD動画をパソコンに取り込む場合は
PlayMemories Homeが必要です。

- PlayMemories Homeは最新版にアップデートしてご使用ください。



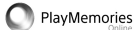
本機から画像をパソコンに取り込み



取り込んだ画像を
再生する



PlayMemories
Online™で画像
をシェア



Windowsは以下の機能も使えます。



カレンダー
表示



動画ディスク
を作成



ネットワーク
サービスに
アップロード

PlayMemories Homeをダウンロードする

PlayMemories Homeは、以下のURLよりダウンロードできます。

<http://www.sony.net/pm/>

パソコン環境を確認する

ソフトウェアのパソコン環境は、以下のURLよりご
確認いただけます。

<http://www.sony.net/pcenv/>



動画のディスクを作成する

動画ディスクの種類を選ぶ

本機で記録した動画からディスクを作成することができます。
ディスクの種類によって再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。

ご注意

- Mac版のPlayMemories Homeではディスクを作成できません。
- XAVC S動画とMP4動画(同時ビデオ記録)からのディスク作成は、ブルーレイディスクとDVD(AVCHD記録ディスク)のみ対応しています。また、PlayMemories Home Ver.4.3.00以上へのアップデートが必要です。

作成できるディスクの種類と動画記録方式

ディスクの種類/目的	記録方式			再生機器
	XAVC S	AVCHD	MP4	
Blu-ray (ブルーレイディスク) ハイビジョン画質で 残したい	○ ^{*1}	○ ^{*2}	○ ^{*1}	ブルーレイディスク再生機器 (ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など)
DVD ハイビジョン画質 (AVCHD記録ディスク)で残したい	○ ^{*1}	○ ^{*3}	○ ^{*1}	AVCHD規格対応再生機器 (ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など)
DVD 標準画質で記録して 残したい	×	○	×	一般的なDVD再生機器 (DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど)

^{*1} [設定] 記録方式]をXAVC SまたはMP4にして撮影した動画は、PlayMemories Homeでのディスク作成時、1920×1080/60iに変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。
そのままの画質で保存したいときは、パソコンまたは外付けメディアに保存してください。

*2 以下の条件で撮影した動画からブルーレイディスクを作成するには、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。

－ [記録方式]がAVCHD

－ [フレームレート]が[60p]で[録画モード]が[60p画質 **PS**]

*3 以下の条件で撮影した動画は、PlayMemories HomeでのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。

変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。

－ [フレームレート]が[60p]で[録画モード]が[60p画質 **PS**]

－ [フレームレート]が[60i]で[録画モード]が[最高画質 **FX**]

－ [フレームレート]が[24p]で[録画モード]が[最高画質 **FX**] (HDR-CX675/PJ675/CX680/PJ680)

残す

パソコンで動画ディスクを作成する

パソコンに取り込んだ動画から、PlayMemories Homeを使ってディスクを作成できます (Windowsのみ)。お使いのパソコンが各ディスクの作成に対応している必要があります。

初めてご使用になる際は、パソコンにUSBケーブルで本機を接続してください。必要なソフトウェアが自動で追加されます (インターネット接続が必要です)。標準画質でDVDを作成する場合は、画面の指示に従って専用のアドオンソフトウェアをインストールしてください。

PlayMemories Homeを使ったディスクの作りかたについての詳細は、PlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

PlayMemories Homeで使えるディスクの種類について

PlayMemories Homeでは以下の12 cmのディスクを使えます。

ディスクの種類	特徴
BD-R* / DVD-R / DVD+R / DVD+R DL	書き換えできない。
BD-RE* / DVD-RW / DVD+RW	書き換えて再利用できる。

* 追加記録はできません。

外部機器に映像を保存する

動画と静止画を保存する方法を説明します。相手機器の取扱説明書もご覧ください。

パソコンに動画を保存する場合は、PlayMemories Homeを使用してください(19ページ)。

動画の保存方法

接続する機器	使用ケーブル	保存できる画質/ 記録方式	保存できる メディア
USB端子があるレコーダー(ブルーレイディスクレコーダー)	内蔵USBケーブル	HD(ハイビジョン)画質 ● AVCHDなど*	ブルーレイディスク
USB端子がないレコーダー	AVケーブル(別売)	標準画質	DVD
外付けメディア	USBアダプターケーブル VMC-UAM2(別売)	HD(ハイビジョン)画質 ● XAVC S ● AVCHD	外付けメディア
パソコン	内蔵USBケーブル	HD(ハイビジョン)画質 ● XAVC S ● AVCHD	パソコンおよび接続している外付けメディア

* 最新の保存環境については、サポート情報をご確認ください。

<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>

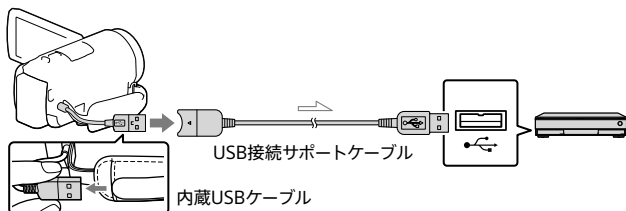
- AVケーブル(別売)とレコーダーをつないで、アナログで保存することもできます。画質は標準画質になります(25ページ)。
- 外付けメディアへの動画のダイレクトコピーには、USBアダプターケーブル(別売)が必要です。
- ディスクの作成については、「動画のディスクを作成する」(20ページ)をご覧ください。

ブルーレイディスクレコーダーに映像を保存する

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにダビングしたり、ディスクを作成したりできます。

1 バッテリーを本機に取り付ける。

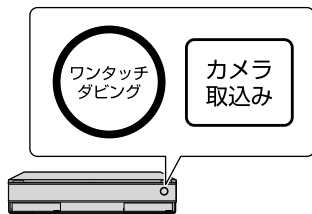
2 本機の電源を入れ、本機とブルーレイディスクレコーダーをUSBケーブルでつなぐ。



➡ 信号の流れ

- ケーブルが短いときは、本機にUSB接続サポートケーブル(付属)を取り付けてください。

3 ブルーレイディスクレコーダーの「カメラ取込み」ボタンまたは「ワンタッチダビング」ボタンを押す。



- 一度もブルーレイディスクレコーダーに取り込まれたことがない画像がブルーレイディスクレコーダーに保存されます。

接続を終了するには

本機の画面で  → [はい] を選びます。

ご注意

- ブルーレイディスクレコーダーに取り込む際は、サポート情報をご覧ください。
<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>
- [60p画質 **PS**] で撮影した動画を保存するには、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。
- ディスクに保存する方法については、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーによってボタンの有無、操作方法や使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 一部のブルーレイディスクレコーダーでは、対象のカメラを認識できません。これは本機にexFAT(ファイルシステム)が採用されていることによります。
- USB接続サポートケーブル(付属)をつないだ状態でダビングできない場合、マイクロUSBケーブル(別売)で本機のマルチ/マイクロUSB端子とブルーレイディスクレコーダーをつないでダビングをお試しください。

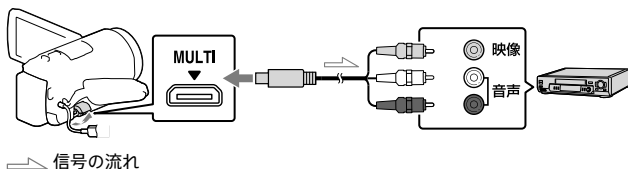
その他の機種に映像を保存する

USB端子が無いレコーダーとつなぐ

本機のマルチ/マイクロUSB端子とレコーダーを、AVケーブル(別売)でつなぎます。

手順:

- ① バッテリーを本機に取り付ける。
 - ② ACアダプター(付属)を本機に接続する。
 - ③ AVケーブル(別売)を接続する。
- 保存する方法については、レコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
 - 標準画質で保存されます。

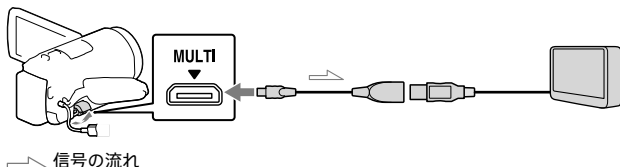


USB外付けハードディスクとつなぐ

本機のマルチ/マイクロUSB端子と対応の外付けメディアを、USBアダプターケーブル VMC-UAM2(別売)でつなぎます。

手順:

- ① バッテリーを本機に取り付ける。
 - ② ACアダプター(付属)を本機に接続する。
 - ③ USBアダプターケーブル VMC-UAM2(別売)を接続する。
- HD(ハイビジョン)画質で保存されます。



USB外付けハードディスクに保存する

外付けハードディスクなどのメディアに動画・静止画を保存します。

① 本機と外付けメディアをつなぐ。

- [管理ファイル準備中しばらくおまちください]が表示されている間はUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機に[管理ファイル修復]画面が表示されたら、を選びます。

② 本機の画面で[コピーする]を選ぶ。

- 使用している記録メディアに記録した画像のうち、外付メディアに保存されていない画像が保存されます。
- 本機に新たに記録した画像がない場合は選択画面が表示されません。
- 接続を終了するには、イベントビューまたはイベントインデックス画面でを選びます。
- 外付けメディアに保存するときは、ACアダプター(付属)を接続してください。

Wi-Fi機能を使う

スマートフォン用アプリをインストールする

PlayMemories Mobile™の最新情報、機能詳細はこちらをご覧ください。



<http://www.sony.net/pmm/>

Android OSの場合

Google playから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチの場合は、Android 4.0以上が必要です。

iOSの場合

App Storeから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチは、iOSでは使えません。

ご注意

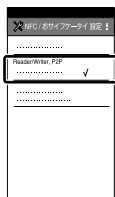
- すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- 本機のWi-Fi機能は公衆無線LANに接続して使用することはできません。
- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。

残す

スマートフォンにMP4動画/静止画を転送する

NFC対応のAndroidでワンタッチ接続する場合

- 1 スマートフォンの[設定]を起動して[その他の設定]を選び、[NFC/おサイフケータイ設定]の[NFC R/W P2P]または[Reader/Writer,P2P]にチェックを入れる。



2 本機でスマートフォンに転送したい画像を再生する。

- MP4動画または静止画のみ、転送できます。
- 再生時にMP4動画を選ぶには、「見る」の手順2で「動画フォーマット切り換え」を選んでください。(14ページ)

3 本機とスマートフォンをタッチする。



ご注意

- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- 本機とスマートフォンの画面に **N** が表示されていることを確認してください。
- スマートフォンでPlayMemories Mobileが起動するまで(1~2秒)、本機とスマートフォンを動かさずにタッチし続けてください。
- 一部の  がついているスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- NFCでうまく接続できない場合は「QRコードを使ってWi-Fi接続する場合」で接続してください。

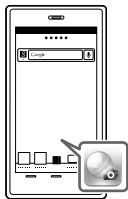
QRコードを使ってWi-Fi接続する場合

1 (画像再生) ボタンを押してから、**MENU** → [ワイヤレス] → [機能] → [スマートフォン転送] → [カメラから選ぶ] → 画像の種類を選ぶ。

2 転送する画像を選び、✓をつけて **OK** → **OK** を選ぶ。
• QRコード、SSID、パスワードが表示されます。



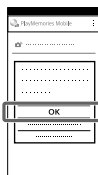
3 PlayMemories Mobile を起動する。



4 PlayMemories Mobile 上の [カメラのQRコード読取り] を選ぶ。



5 [OK] を選ぶ (メッセージが表示されたら再度 [OK] を選ぶ)。



6 本機のディスプレイに表示されているQRコードをスマートフォンで読み取る。

Androidのとき

続けて以下の操作を行います。

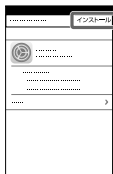
- ① 「カメラと接続しますか?」と表示されたら [つなげる] を選ぶ。

iPhone/iPadのとき

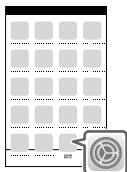
続けて以下の操作を行います。

- ① 画面の指示に従ってプロファイル (設定情報) をインストールする。

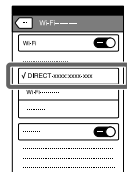
残す



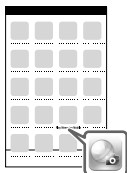
- ② ホームで[設定]→[Wi-Fi]を選ぶ。



- ④ SSIDを選ぶ。



- ⑤ ホームに戻り、PlayMemories Mobileを起動する。



- QRコードを読み込むと、カメラのSSID (DIRECT-xxxx) とパスワードがスマートフォンに登録され、2回目以降のWi-Fi接続時にSSIDを選ぶだけでカメラとスマートフォンを接続できるようになります。
- NFCやQRコードを使ってもスマートフォンとカメラを接続できない場合は、SSIDとパスワードを使って接続してください。
操作について詳しくは、「ヘルプガイド」をご覧ください。

スマートフォンをリモコンとして使う

本機の撮影機能の一部をスマートフォンで遠隔操作して撮影できます。

- 1 本機で **MENU** → [ワイヤレス] → [📶 機能] → [スマートフォン操作] を選ぶ。

- 2 「スマートフォンに画像を転送する／QRコードを使ってWi-Fi接続する場合」の手順6(29ページ)と同じ操作を行う。

NFCを使う場合は、本機を撮影画面にして、本機の **N** とスマートフォンの **N** または **📶** をタッチします。

3 スマートフォンを操作する。

ご注意

- 電波環境やスマートフォンの性能によってはライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。

Wi-Fiでパソコンに画像を保存する

あらかじめ、無線アクセスポイントまたは無線対応ブロードバンドルーターをパソコンにつないでください。

1 お使いのパソコンに専用のソフトウェアをインストールする(初回のみ)。

Windowsをお使いのかた：
PlayMemories Home
<http://www.sony.net/pm/>

Macをお使いのかた
ワイヤレス自動取り込み
<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

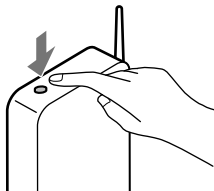
- すでに専用ソフトウェアがインストール済みの場合でも、必ず最新版をウェブサイトからインストールしてください。

2 本機を無線アクセスポイントに接続する(初回のみ)。

以下のどちらかの手順で登録を行えない場合は、無線アクセスポイントの説明書をご参照いただくか管理されているかたにお問い合わせください。

お使いの無線アクセスポイントにWPSプッシュボタン*がある場合

- ① 本機で **[MENU]** → **[ワイヤレス]** → **[設定]** → **[アクセスポイント簡単登録]** を選ぶ。
- ② 登録したい無線アクセスポイントのWPSボタン*を押す。



* 無線アクセスポイントがAOSSとWPSの両方に対応している場合は、AOSSボタンを押してください。

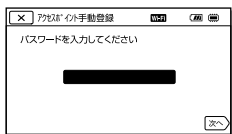
お使いの無線アクセスポイントのSSIDとパスワードをご存知の場合

- ① 本機で **[MENU]** → **[ワイヤレス]** → **[設定]** → **[アクセスポイント手動登録]** を選ぶ。

残す

- ② 接続したい無線アクセスポイントを選び、無線アクセスポイントのパスワードを入力して

次へを選ぶ。



3 パソコンが起動していない場合は、パソコンの電源を入れる。

4 本機からパソコン保存を開始する。

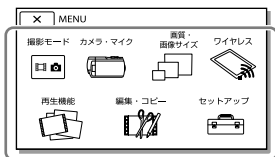
- ① 本機の  (画像再生) ボタンを押す。
 - ② **MENU** → [ワイヤレス] → [ 機能] → [パソコン保存] を選ぶ。
- 画像保存を自動的に開始します。
 - 2回目以降は新しく撮影した画像のみ保存します。動画や複数枚の静止画を転送する場合、時間がかかります。
-

メニューを設定する

1 MENUを選ぶ。



2 カテゴリーを選ぶ。



- 機種によって表示されるカテゴリーの数は異なります。

3 設定したいメニュー項目を選ぶ。



上下に移動

- メニューを終了する、または前のメニューに戻るには [X] を選びます。

メニュー一覧

📷 撮影モード

動画
静止画
タイムラプス撮影

📷 カメラ・マイク

📺 マニュアル設定

ホワイトバランス
Spot測光フォーカス
スポット測光
スポットフォーカス
カメラ明るさ
フォーカス
絞り
シャッタースピード
AEシフト^{*1}
WBシフト^{*1}
Low Lux

📷 カメラ設定

シーンセレクション
ピクチャーエフェクト
📺 シネマトーン^{*1}
📺 フェーダー
📷 セルフタイマー
📺 手ブレ補正
📷 手ブレ補正
デジタルズーム
コンバージョンレンズ^{*2}
自動逆光補正

👤 顔

顔検出
スマイルシャッター
スマイル検出感度

使いこなす

フラッシュ^{*1 *3}

フラッシュ
フラッシュレベル
赤目軽減

マイク

マイボイスキャンセリング
内蔵ズームマイク
自動風ノイズ低減
オーディオモード
録音レベル

撮影補助

マイボタン登録
グリッドライン
画面表示設定
音声レベル表示

画質・画像サイズ

 録画モード
 フレームレート
同時ビデオ記録
 記録方式
 画像サイズ

ワイヤレス

機能

スマートフォン操作
マルチカメラコントロール
ライブストリーミング
スマートフォン転送
パソコン保存
テレビ鑑賞

設定

飛行機モード
マルチコントロール設定
ライブ時のビデオ記録
アクセスポイント簡単登録
アクセスポイント手動登録
機器名称変更
MACアドレス表示

SSID・PWリセット
接続情報リセット

再生機能

イベントビュー

編集・コピー

削除
プロテクト
コピー
ダイレクトコピー^{*4}

セットアップ

 メディア設定
メディア切換
メディア情報
フォーマット
管理ファイル修復
ファイル番号

再生設定

日付/データ表示
音量
モーションショットビデオ設定
BGMダウンロード
BGMデータ消去

接続

TVタイプ
HDMI解像度
HDMI機器制御
USB接続
USB接続設定
USB給電
USB LUN設定

一般設定

操作音
モニター明るさ
モニターで電源オン
キャリブレーション
バッテリーインフォ
パワーセーブ

設定リセット

デモモード

バージョン表示

認証マーク表示

時計設定

日時設定

表示形式

サマータイム

日時

エリア設定

*1 HDR-CX675/PJ675/CX680/
PJ680

*2 HDR-CX485

*3 フラッシュ (別売) を使用時に設定
できます。

*4 外付メディア (別売) を使用時に設
定できます。

使用上のご注意

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- バッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

他機での再生について

本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- メモリーカードを誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

- あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところで使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所での使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

モニターについてのご注意

モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

本機の温度について

ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

無線に関連する設定(Wi-Fi、NFCなど)を一時的に無効にする

飛行機などに搭乗するとき、一時的に無線に関連する機能をすべて無効にすることができます。[飛行機モード]を[入]にしてください。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS / OF2

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は本機の画面上で確認することができます。

[MENU] → [セットアップ] → [一般設定] → [認証マーク表示] を選択してください。

本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談ください。

ワイヤレスLANに関するご注意

- 紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国の電波関連規制等に違反する恐れがあり、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

- 「ヘルプガイド」(3ページ)を参照し、本機を点検する。
- バッテリーを取り外し、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。
- 設定リセットをする(35ページ)。
リセットすると、日時などの設定が解除されます。
- ハンディカムTMホームページなどで確認する。

<http://www.sony.jp/support/handycam/>



- 相談窓口にて電話で問い合わせる(裏表紙)。

主な仕様

システム

信号方式

NTSCカラー、EIA標準方式

デジタルハイビジョン方式

動画記録方式

XAVC S方式 (XAVC S規格)

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：MPEG-4 Linear PCM 2ch

(48 kHz/16 bit)

AVCHD方式 (AVCHD規格 Ver.2.0準拠)

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：Dolby Digital 2ch/5.1ch
ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載^{*1}

MP4方式

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch

^{*1} ドルビーラボラトリーズからの実施
権に基づき製造されています。

静止画ファイルフォーマット

：DCF Ver.2.0準拠

：Exif Ver.2.3準拠

：MPF Baseline準拠

記録メディア (動画・静止画)

内蔵メモリー 32 GB^{*2} (HDR-CX485/
CX675/PJ675)、64 GB^{*2} (HDR-
CX680/PJ680)

XAVC S (動画)：

microSDHCメモリーカード (Class10
以上)

microSDXCメモリーカード (Class10
以上)

AVCHD、静止画：

メモリースティックマイクログ (Mark2)
microSDカード (Class4以上)

^{*2} 使用可能容量 約31.2 GB
(HDR-CX485/CX675/PJ675)、
約62.4 GB (HDR-CX680/PJ680)

容量は、1GBを10億バイトで計算した
場合の数値です。また管理用ファイル、
アプリケーションファイルなどを含む
ため、実際に使用できる容量は減少し
ます。

撮像素子：

3.1 mm (1/5.8型) CMOSセンサー

記録画素数：

静止画時 最大920万画素相当^{*3}

(4 032 × 2 272) (16 : 9時)

総画素数：約251万画素

動画時有効画素数^{*4} (16 : 9)：

約229万画素

静止画時有効画素数 (16 : 9)：

約229万画素

静止画時有効画素数 (4 : 3)：

約171万画素

ズームレンズ：

HDR-CX485：

ZEISS バリオ・テッサー

30倍 (光学) ^{*4}、60倍 (クリアイメージ、

動画時のみ) ^{*5}、350倍 (デジタル)

フィルター径：37 mm

F1.8 ~ F4.0

f=1.9 mm - 57.0 mm

35 mmカメラ換算では動画撮影時^{*4}：

f=26.8 mm - 804.0 mm (16 : 9)

静止画撮影時：

f=26.8 mm - 804.0 mm (16 : 9)

HDR-CX675/PJ675/CX680/PJ680：

Gレンズ

30倍 (光学) ^{*4}、60倍 (クリアイメージ、

動画時のみ) ^{*5}、350倍 (デジタル)

フィルター径：46 mm

F1.8 ~ F4.0

f=1.9 mm - 57.0 mm

35 mmカメラ換算では動画撮影時^{*4}：

f=26.8 mm - 804.0 mm (16 : 9)

静止画撮影時：

f=26.8 mm - 804.0 mm (16 : 9)

色温度切り換え：[オート]、[ワンプッシュ]、

[屋内]、[屋外]

最低被写体照度：

6 lx (ルクス) (お買い上げ時、[シャッ
タースピード] 1/30秒)

3 lx (ルクス) ([Low Lux]が[入]時、
[シャッタースピード] 1/30秒)

^{*3} ソニー独自の画像処理システム
BIONZ-Xにより、静止画は表記の記
録サイズを実現しています。

^{*4} [手ブレ補正]が[スタンダード]、ま
たは[切]のとき

^{*5} [手ブレ補正]が[アクティブ]のとき

入/出力端子

HDMI OUT端子：HDMIマイクロコネクター

PROJECTOR IN端子(HDR-PJ675/
PJ680)：
HDMIマイクロコネクター

MIC入力端子：ステレオミニジャック(φ3.5 mm)

ヘッドホン端子：ステレオミニジャック(φ3.5 mm)

USB端子：タイプA(内蔵USB)

マルチ/マイクロUSB端子^{*6}

^{*6} マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

液晶モニター

画面サイズ：7.5 cm(3.0型、アスペクト比16：9)

総ドット数：460 800ドット
横960 × 縦480

プロジェクター(HDR-PJ675/ PJ680)

表示方式：DLP

光源：LED(R/G/B)

フォーカス：マニュアル

投写距離(約)：最低0.5m以上

コントラスト比：1 500：1

解像度(出力)：640 × 360

連続投影可能時間(付属バッテリー使用時)：約1時間35分

ワイヤレスLAN

対応規格：IEEE 802.11b/g/n

使用周波数帯：2.4 GHz帯

セキュリティ：WEP/WPA-PSK/
WPA2-PSK

接続方式：WPS(Wi-Fi Protected Setup)
/マニュアル

アクセス方式：インフラストラクチャーモード

NFC：NFCフォーラムType3 Tag準拠

電源部、その他

電源電圧：DC 7.4 V(バッテリー端子入力)、
DC 5 V 1500 mA(ACアダプター)、DC
8.4 V(DC端子入力)

USB充電：DC 5 V 1 500 mA

消費電力：

液晶モニター使用時、明るさ標準：

2.5 W(HDR-CX675/PJ675/CX680/
PJ680)

2.4 W(HDR-CX485)

動作温度：0℃～40℃

保存温度：-20℃～+60℃

外形寸法(約)：

HDR-CX485：

57.0 mm × 59.5 mm × 119.0 mm
(突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)

57.0 mm × 59.5 mm × 128.5 mm
(突起部を含む、付属バッテリー装着状態)(幅×高さ×奥行き)

HDR-CX675：

57.5 mm × 66.0 mm × 121.0 mm
(突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)

57.5 mm × 66.0 mm × 130.5 mm
(突起部を含む、付属バッテリー装着状態)(幅×高さ×奥行き)

HDR-PJ675：

61.5 mm × 66.0 mm × 121.0 mm
(突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)

61.5 mm × 66.0 mm × 130.5 mm
(突起部を含む、付属バッテリー装着状態)(幅×高さ×奥行き)

HDR-CX680：

57.5 mm × 66.0 mm × 121.0 mm
(突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)

57.5 mm × 66.0 mm × 134.5 mm
(突起部を含む、付属バッテリー装着状態)(幅×高さ×奥行き)

HDR-PJ680：

61.5 mm × 66.0 mm × 121.0 mm
(突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)

61.5 mm × 66.0 mm × 134.5 mm
(突起部を含む、付属バッテリー装着状態)(幅×高さ×奥行き)

本体質量(約)：

HDR-CX485：

195 g(本体のみ)

HDR-CX675：

305 g(本体のみ)

HDR-PJ675：

325 g(本体のみ)

HDR-CX680：

305 g(本体のみ)

HDR-PJ680 :

325 g (本体のみ)

撮影時総質量 (約) :

HDR-CX485 :

250 g (付属バッテリー)

HDR-CX675 :

360 g (付属バッテリー)

HDR-PJ675 :

380 g (付属バッテリー)

HDR-CX680 :

355 g (付属バッテリー)

HDR-PJ680 :

375 g (付属バッテリー)

ACアダプター AC-UUD12

電源 : AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電力 : 11 W

定格出力 : DC 5.0 V

リチャージャブルバッテリーパック

NP-FV50 (HDR-CX485/CX675/ PJ675)

公称電圧 : DC 6.8 V

リチャージャブルバッテリーパック

NP-FV50A (HDR-CX680/PJ680)

公称電圧 : DC 7.3 V

本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- AVCHD、AVCHD Progressive、AVCHD ロゴおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- XAVC Sおよびはソニー株式会社の登録商標です。
- メモリースティックおよびはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Blu-ray Disc™ およびBlu-ray™ はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows VistaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Intel、Pentium、Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコ

モの登録商標です。

- Facebook、“f”ロゴは Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークを明記していない場合があります。



GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、次のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。「ライセンス内容(英文)」に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

その他

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな? と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

修理に出される前に

- 修理内容によっては内蔵メモリーの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、内蔵メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に内蔵メモ

リー内のデータを保存(バックアップ)してください。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。

- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

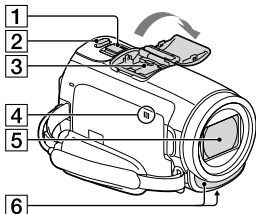
部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

HDR-CX675/PJ675/ CX680/PJ680

()内の数字は参照ページです。



- 1 ズームレバー (11、13)
- 2 PHOTO(フォト)ボタン (13)
- 3 マルチインターフェースシュー

mi Multi Interface Shoe

マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについて詳しくは専用サポートサイトでご確認ください。

他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。

<http://www.sony.jp/support/handycam/>
シューアダプター(別売)を使用することで、アクティブインターフェースシュー対応のアクセサリーも使用できます。

故障の原因になりますので、シン

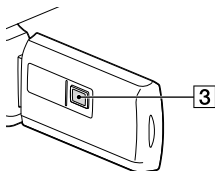
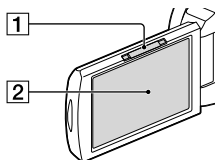
クロ端子が高電圧な市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。

4 Nマーク (28)

NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

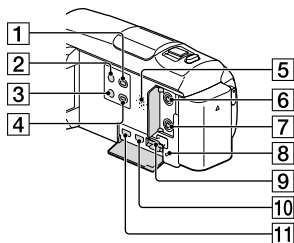
5 レンズ (Gレンズ搭載)

6 内蔵マイク



- 1 PROJECTOR FOCUS(プロジェクターフォーカス)レバー (18) (HDR-PJ675/PJ680)
- 2 液晶モニター/タッチパネル
- 3 プロジェクターレンズ (HDR-PJ675/PJ680)

その他



1 (画像再生) ボタン (14)

2 (電源) ボタン

3 (マイボイスキャンセリング) ボタン

撮影者の声をおさえて動画を撮影します。

4 PROJECTOR (プロジェクター) ボタン (18)
(HDR-PJ675/PJ680)

5 スピーカー

6 (マイク) 端子 (PLUG IN POWER)

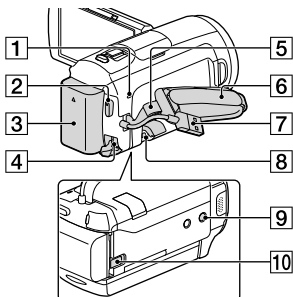
7 (ヘッドホン) 端子

8 メモリーカードアクセスランプ (9)

9 メモリーカード スロット (9)

10 HDMI OUT 端子

11 PROJECTOR IN 端子 (18)
(HDR-PJ675/PJ680)



1 POWER (電源) / CHG (充電) ランプ (5)

2 START/STOP (スタート/ストップ) ボタン (11)

3 バッテリーパック (5)

4 DC IN 端子

5 ショルダーベルト取り付け部

6 グリップベルト

7 内蔵USBケーブル (5)

8 マルチ/マイクロUSB端子

アダプターケーブル VMC-AVM1 (別売) は非対応です。

そのため、A/Vリモート端子対応のアクセサリを使用できません。

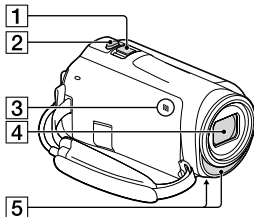
9 三脚用ネジ穴

三脚 (別売、ネジの長さが5.5mm以下) を取り付けます。三脚の仕様によっては、適切な方向で取り付けられない場合があります。

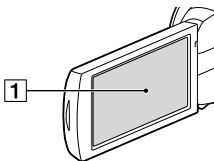
10 BATT (バッテリー) 取り外しレバー (6)

HDR-CX485

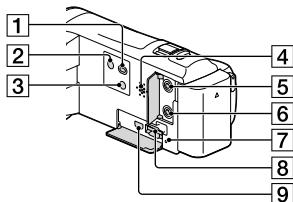
()内の数字は参照ページです。



- 1 ズームレバー (11、13)
- 2 PHOTO(フォト)ボタン (13)
- 3 Nマーク (28)
NFC(Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。
- 4 レンズ(ZEISS バリオ・テッサー搭載)
- 5 内蔵マイク

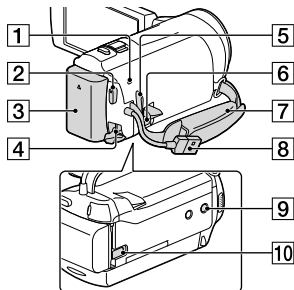


- 1 液晶モニター/タッチパネル



- 1 (画像再生) ボタン (14)
- 2 (電源) ボタン
- 3 (マイボイスキャンセリング) ボタン
撮影者の声をおさえて動画を撮影します。
- 4 スピーカー
- 5 (マイク) 端子 (PLUG IN POWER)
- 6 (ヘッドホン) 端子
- 7 メモリーカードアクセスランプ (9)
- 8 メモリーカード スロット (9)
- 9 HDMI OUT端子

その他



1 POWER(電源) /CHG(充電)ランプ(5)

2 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(11)

3 バッテリーパック(5)

4 DC IN端子

5 ショルダーベルト取り付け部

6 マルチ/マイクロUSB端子

マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。アダプターケーブル VMC-AVM1(別売)は非対応です。そのため、A/Vリモート端子対応のアクセサリーを使用できません。

7 グリップベルト

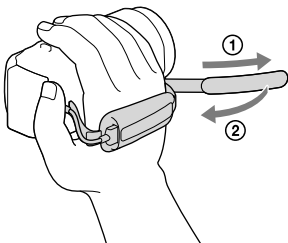
8 内蔵USBケーブル(5)

9 三脚用ネジ穴

三脚(別売、ネジの長さが5.5mm以下)を取り付けます。三脚の仕様によっては、適切な方向で取り付けられない場合があります。

10 BATT(バッテリー)取り外しレバー(6)

グリップベルトを締めるには



安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意を払う

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やグリップベルトを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

ケーブル類を傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。
また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

その他



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。



ワイヤレス機能ご使用上の注意

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。





下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリなどを取り外すときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

プロジェクター発光部を直接のぞかない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと強い光が目には悪影響を与えることがあります。



禁止

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

その他

**⚠ 危険 電池についての
安全上のご注意とお願い**

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠ 危険

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。



⚠ 警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ボタン電池は充電しないでください。



⚠ 注意

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り外しておく。



お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.com>を参照してください。

索引

ア行

アフターサービス	44
インストール	27
インテリジェントアクティブモード	12
映像の取り込み	19
液晶モニター	45
お問い合わせ先	56
主な仕様	40

カ行

記録/再生メディア	10
記録メディア	10
グリップベルト	48
故障かな?と思ったら	39
コピー	16
コンセントに接続して使用	8

サ行

再生	14
削除	15
撮影可能時間	12
撮影/再生可能時間	6
撮影者の声	12
三脚	46
充電	5
充電時間	6
修理	44
使用上のご注意	36
ズーム	11
スマートフォン	27
静止画	13
操作音	7
ソフトウェア	19

タ行

タッチパネル	45
ディスクの作成	20
テレビ	17
電源	7
動画	11
撮る	11

ナ行

内蔵USBケーブル	5, 8, 23
日時	7
ネットワーク	17

ハ行

パソコン	19
パソコン環境	19
パソコンに接続して充電	6
バッテリー	5
日付と時計を合わせなおす	7
フォーマット	10
付属品	4
ブルーレイディスク	23
プロジェクター	18
ヘルプガイド	3
編集	14
保証書	44

マ行

マイボイスキャンセリング	12
満充電	6
見る	14
無線アクセスポイント	31
メニュー	33
メニュー一覧	33
メモリーカード	9
メモリースティック マイクロ (Mark2)	9

アルファベット

ACアダプター	5, 8
Android	27
App Store	27
AVCHD動画	12, 19
Google play.....	27
HDMIケーブル.....	17, 18
iOS	27
microSDカード	9
MP4	14, 28
NFC	28
NFCワンタッチ	27
PlayMemories Home	19
PlayMemories Online	19
USB.....	5, 8
USBアダプターケーブル.....	25
USB接続サポートケーブル	5, 8
Wi-Fi	27
Windows	19
XAVC S動画	12, 19

詳しい情報はヘルプガイド (HTML)へ(3ページ)

ハイライトムービーメーカー
ライブストーリーミング
マルチカメラコントロール
タイムラプス撮影
自己診断・警告
静止画の撮影可能枚数
メニューの詳しい説明

ハンディカムの最新サポート情報

(製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)

<http://www.sony.jp/support/handycam/>



ソフトウェアのサポート情報

<http://www.sony.jp/support/r/disoft/>

ハンディカムホームページ

<http://www.sony.jp/handycam/>

ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する情報を掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル

…… **0120-333-020**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

…… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル

…… **0120-222-330**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

…… **050-3754-9599**

※ 取扱説明書等の購入相談はこちら
へお問い合わせください。



FAX (共通) **0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「400」+「#」(本機や付属品)

「404」+「#」(ソフトウェア「PlayMemories Home」)

を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp>

